

学習指導案（番組を活用した授業例）

1 題材名「リモートであそんでみよう」



2 本時のねらい

- ・リモートでのコミュニケーションの取り方を体験する。
- ・どうすれば相手に伝わりやすいかを考えて工夫する。

3 番組の活用について

- ・リモートでできるあそびを実際に体験し、ICT機器の様々な活用に慣れ親しむ。
- ・相手に伝わりやすいコミュニケーションについて考えたり体験したりする機会とする。

4 本時の流れ

	主な学習活動と内容 (45分)	指導上の留意点
導入	<p>① 本時の学習内容を確認</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;">リモートであそんでみよう</p> <p>② ストレッチマン・ゴールドの視聴 </p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 番組を途中まで（～10:08のストレッチの場面まで）視聴する。 <p>③ リモートでのあそびにどんなものがあつたかを話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 番組を視聴して、「リモートでのあそび」や「相手に分かりやすい伝え方」について気づいたことや分かったことを発言したり伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもてるように、本時の学習内容を視覚的に提示する。 ・リモートでの学習やコミュニケーションの様子を写真・イラスト等で視覚的に提示し、今日のテーマを伝える。 ・視聴する前に、テーマについて児童が知っていることを聞き取るなどの働きかけを行い、テーマについて意識を高めるのもよい。 ・児童の気づきや理解を丁寧に受け止める。
展開	<p>④ リモートでのあそびを体験する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで揃えよう！」 一人一人（もしくは教師が）質問やヒントを出し、全員が同じものを選んで画面に提示することができたら成功、というルールを意識しながら取り組む。どうすれば画面の相手にうまく伝えられるかを考えてヒントを出すようにする。 ○ 「受け取って渡そう！」 画面を見ながら隣の児童に順番にボール等を渡していく。手渡したり受け取ったりする位置をお互いが調整して受け渡しができるようにする。 ○ 「身振り手振りで伝えよう！」 ジェスチャーで相手に分かりやすく伝えるように工夫して取り組む。 <p>⑤ 番組の続きを視聴する </p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 10:08～の動画を視聴し、ゴールドと一緒にストレッチに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・端末を一人一台、もしくはグループで一台準備し、それぞれ離れた場所に移動する。 ・ビデオ通話機能を活用し、それぞれの端末をリモートで接続する。必要に応じて操作を支援する。 ・3つのあそびの中から何をやりたいか、児童が相談して選んでもよい。 ・「みんなで揃えよう！」に取り組む場合は、必要となるグッズをそれぞれの場所に準備する。グッズについては、色、形、概念、数などの属性を児童の実態に応じて変化させると、国語や算数の学習にもつなげることができる。 ・「受け取って渡そう！」は実物の受け渡し時に教師の支援が必要となる。あそびの発展として、絵合わせのピースをそれぞれ一片ずつ持ち、画面上で1つの絵を完成させるなどの内容も考えられる。 ・「身振り手振りで伝えよう！」では、「動物」「スポーツ」などジェスチャーのテーマを設定してもよい。
	<p>⑥ 本時の振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リモートでのコミュニケーションについて再度振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートでのあそびはどんなところが楽しかったか、相手に分かりやすく伝えるためにどんな工夫ができたかを振り返れるとよい。

5 評価

- ・番組で紹介されたポイントを意識しながら、「リモートあそび」について理解したり自分で工夫したりすることができたか。（知識・技能）、（思考力・判断力・表現力等）

